

## 言語活動の充実に関する実践事例

学校名（世羅町立世羅西中学校）

- ① 教科等 保健体育科      ② 学年 第2学年  
 ③ 単元名 陸上競技「ハードル走」  
 ④ 本時の目標 自己の動きや運動の行い方のポイントについて分析し、課題に応じた練習方法を選ぶことができるようにする。  
 ⑤ 学習の流れ（5時間目／全9時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 （評価方法）
1 本時のねらいを確認する。		
ビデオ・写真から自分の課題を明確にし、課題に応じた練習を考えよう！		
2 ビデオ・写真で効率のよいハードル走について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに学習した効率のよいハードル走のポイント（4観点）を確認する。</li> <li>・ビデオや写真から気付いたことをワークシートに記入させる。</li> <li>・同じグループ内で発表させる。</li> <li>・全体で発表させる。</li> </ul>	
3 比較・分析から自分の課題を見付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオや写真の模範的な映像と、自分の運動を比較・分析させ、自分の課題をまとめさせる。</li> <li>・課題設定の「理由」を明確にし、発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>〔運動や健康・安全についての思考・判断〕</li> <li>（ワークシートの記述、発表）</li> </ul>
4 課題に応じた練習方法を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に効果的な練習方法を各自で考えさせる。（個人思考）</li> <li>・各自が考えた練習方法をグループで話し合わせる。（集団思考）</li> </ul>	
5 考えた練習を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えた練習方法を試行錯誤させながら、効果的な練習方法へと修正させる。</li> </ul>	
6 本時の振り返りとまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題に応じた練習方法であったか振り返りながらまとめさせる。</li> </ul>	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 自分の課題について、ビデオや写真から得た情報を根拠として比較・分析し、説明できる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 効率のよいハードル走のポイントを4観点で示すことで、学習課題を明確にさせる。
- 効率のよいハードル走のポイントを4観点で示し、視点を固定することで、生徒相互の考えを焦点化し、話し合い等をスムーズにさせる。
- 活用力を育てるために、基本用語や既習事項を「キーワード」として、それらが考えの根拠になるようにまとめさせる。